

＜日比谷オペラ塾＞日本ロッシェニ協会会長・水谷彰良が語る短期集中講座（全2回）

ベルカント・オペラの特質とその終焉
～ロッシェニからベッリーニとドニゼッティへ～



ジョアキーノ・アントーニオ・ロッシェニ

- 前編：ベルカント・オペラとは何か——ロッシェニの作品から
7月7日（木）14：00～15：30（13：30開場）
- 後編：ベッリーニとドニゼッティ——イタリア・ロマン派歌劇の誕生
7月21日（木）14：00～15：30（13：30開場）

「日比谷オペラ塾 短期集中講座」は、オペラ初心者の方から愛好者の方に向けて、1つのテーマを全2回に亘って深掘りするシリーズです。

オペラ歌唱法のひとつで、イタリア語で「美しい歌」「美しい歌唱」を意味するベルカント。日本ではオペラ史での「ベルカント・オペラ」が正しく理解されていないこともあり、一般的に「ベルカント・オペラ」として、ロッシェニ（1792～1868）からベッリーニ（1801～1835）、ドニゼッティ（1797～1848）を一括りにされますが、ロッシェニとその後継者とは、声と役の関係性、音楽の様式、ドラマの捉え方などがはっきりと異なっています。

本講座の前編では、ロッシェニの作品を中心としてベルカント・オペラの特質を歴史的な見地から検証します。後編では、ベッリーニとドニゼッティが、ロッシェニの様式からいかにして脱却していったか、その結果として、ロマンティックな歌劇が生み出されたという変遷をご紹介します。

（主催：フェニーチェ劇場友の会、共催：日比谷図書文化館）



ヴィンチェンツォ・ベッリーニ



ガエターノ・ドニゼッティ

講師 水谷 彰良（日本ロッシェニ協会会長）

著書に『プリマ・ドンナ』（全2巻、東京書籍）、『消えたオペラ譜』『サリエリ』『新イタリア・オペラ史』（音楽之友社）、『ロッシェニ＜セビーリヤの理髪師＞』（水声社）など。『サリエリ』で第27回マルコ・ポーロ賞を受賞。

開催概要

- 会場：日比谷図書文化館 地下1階 日比谷コンベンションホール（大ホール）
- 定員：各回60名（事前申込順、定員に達し次第締切）
- 参加費：各回1500円
- 申込方法：ホームページの申込フォーム、電話（03-3502-3340）いずれかにて、①講座名、②お名前（ふりがな）、③電話番号をご連絡ください。

＜お問い合わせ先＞

千代田区立日比谷図書文化館 広報担当：並木 namiki-yuri@shopro.co.jp、岡本 okamoto-yoriko@shopro.co.jp
〒100-0012 東京都千代田区日比谷公園1-4 TEL:03-3502-3340/FAX:03-3502-3341
ホームページ：<https://www.library.chiyoda.tokyo.jp/hibiya/>